

## アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年9月17日

### 2002年9月15日現在

気温は平年を上回り、北部地区を始め各地の最高気温は90度を越した。最低気温は34～42度程度であり、霜は未だ記録されていない。前々週の降雨で濡れていた圃場は乾燥し、秋蒔きの為の農作業が進んだ。春小麦の収穫は全州にて略完了した。この1週間の州平均農作業可能日数は6.6日であった。

2003年産冬小麦の播種は北部地区でも開始された。全州で見ると16%の圃場で播種が完了し、平年より早い進捗である。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産予想では7月1日と変わらず、75.0ブッシェル/エーカー（昨年：73.0ブッシェル）となっている。収穫面積予想は690,000エーカー（昨年：710,000エーカー）、収穫予想量は51,750千ブッシェル（昨年：51,830千Bu）である。

### 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	25	44	31	0
Last week (%)	26	41	33	0

### 灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	11	26	33	30	0

### 小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat planted (%)	16	1	12	12
Spring wheat harvested (%)	98	93	98	98

Source： Idaho Agricultural Statistics Service

アイダホ州北部地区のソフト・ホワイト小麦の品質は、生育期から登熟期の降水不足の為高淡白、高灰分、高ドッキングの傾向である。又、単位収量は平年を2～3割下回る見込み。